

長岡特殊電線

わが社の「得意技」

きらりと光る

長岡特殊電線(本社・大阪府八尾市太田新町9-11、社長・長岡弘師氏)は1969年創業の各種電線・ケーブルメーカー。従業員は40人(管理部門10人、製造部門30人)。本社工場、第2工場(八尾市太田新町9-58-1)、国分工場(大阪府柏原市国分東条町27-57)の3拠点体制で、主に本社工場、第2工場では電線・ケーブルを、国分工場では原料となるビニルコンパウンドを生産している。機器用ケーブル、通信用ケーブル、計装用ケーブルをメインに、配線器具や延長コード等も幅広く手掛ける。

長岡社長は「創業以来、キャブタイヤコード、ビニルコード、同軸ケーブルな

どを生産してきた。多品種強み。ビニル電線だけでなく、小ロット・超短納期、小く、環境性や防災性に優れた品質、ユーザー目線での設計された作業性に優れる製品群が当社の特長であり

「回りの利いた対応力、安定したエコマテリアルケーブルの製造も手掛けており、多様なユーザーに採用してもらっている」と話す。

JIS Z 2801 準拠の使いやすさは変わらない。抗菌に對する世間の注目度は高く、潜在的なニーズは強いとされる。同社では電線だけでなく抗菌配線ソリューションとして、パンドワイット社や電線商社とも協力しユーザーに訴求していく。そして「今までの電線に安心をプラス」した抗菌ケーブルだけでなく、家庭でもよく使われる電源延長コードのプラグ部分にも抗菌ビニルを採用し、「大切な人を守りたい」という思いに共感してもらえ

抗菌ケーブルNAC

被覆材に抗菌剤配合 医療・食品業向けに展開



- いつもの電線に安心をプラス
- 医療や介護、食品関連機器に
- 抗菌性が求められる環境に

Nagaoka
Antibacterial
Cable

同社は20年6月、オリジナル製品「抗菌ケーブルNAC」の発売を開始した。NACはNagaoka Antibacterial Cableの頭文字。大切な人を守りたいという思いから抗菌ケーブルの開発に着手したが、折しもコロナ禍の真っただ中で販売することになった。

抗菌ケーブルNACは、抗菌剤配合のシース被覆材料を使用し菌の増殖を防止することが可能。ロットや色、納期についても可能な限り顧客の要望に応じる(長岡社長)。

抗菌性試験では、黄色ブドウ球菌・大腸菌への抗菌効果があると評価された。果があると評価された。「写真」の販売を開始(抗菌剤入り試験片での試験結果であり、電線・ケーブルの完成品での試験結果ではない)。

また、抗菌ケーブルNACは、SIAA(一般社団法人抗菌製品技術協議会)の基準をクリアし、SIAAにも認証登録された。「抗菌ケーブルはEMT・VCTF・ACS・CHC・MVS・同軸ケーブルなど、ビニルシースの電線を抗菌ケーブルとして製作す」(同)方針。

「カーリータップもNACシリーズのひとつで、抗菌仕様。『伸びる延長コード』として人気商品となっている。不特定多数が出入りする施設や、衛生面に対する要求が強い病院や公共施設、食品などの製造工場やその機器への普及を目指す」(同)方針。

(白木 毅俊)